

研究に関するお知らせ

1. 研究課題名

離島医療圏における前立腺癌検診の臨床的意義に関する後ろ向きコホート研究

2. 研究の目的

当院では、前立腺癌検診の有無が患者さんの予後（生存率）や診断時の病状、治療内容にどのような影響を与えるかを明らかにすることを目的として研究を行っています。

本研究により、今後の前立腺癌診療および検診のあり方の改善に役立てることを目指しています。

3. 研究の対象

2011 年 1 月 1 日から 2020 年 12 月 31 日までの間に、当院で前立腺癌と新たに診断された患者さんを対象とします。

4. 研究の方法

本研究は、診療の過程で得られた情報（カルテ情報）を用いて行う後ろ向き研究です。新たに検査や治療を追加することはありません。対象となる患者さんについて、以下の情報を収集し解析を行います。

5. 利用する情報

年齢、PSA 値（血液検査）、Gleason Grade Group（病理診断）、臨床病期（がんの進行度）、転移の有無、PSA 測定契機（検診かどうか）、治療内容（手術、放射線治療、内分泌療法、経過観察など）、生存に関する情報（生存期間、死亡原因など）

※個人を特定できる情報（氏名、住所など）は使用しません。

6. 研究の主な評価項目

全生存率、癌特異的生存率

7. 研究対象者に生じる負担およびリスク

本研究は既存の診療情報のみを用いるため、新たな身体的負担や医療上のリスクはありません。ただし、情報漏洩のリスクを最小限にするため、データは匿名化し厳重に管理します。

8. 研究から期待される利益

本研究により、前立腺癌検診の有用性や地域医療における課題が明らかになることで、将来的に診療の質の向上に貢献することが期待されます。

なお、研究対象者ご本人に直接的な利益はありません。

9. 個人情報の保護

収集した情報は匿名化し、研究用の番号を付けて管理します。

個人を特定できる情報が外部に公開されることはありません。

10. 研究への参加拒否について(オプトアウト)

本研究にご自身の情報が使用されることを希望されない場合は、下記連絡先までご連絡ください。

その場合、該当する情報は研究対象から除外いたします。

なお、参加を拒否された場合でも、診療上の不利益を受けることは一切ありません。

11. 研究期間

倫理審査委員会承認後～2029年3月31日

12. 研究組織

研究責任者 新潟大学大学院医歯学総合研究科 腎泌尿器病態学分野 教授 大澤崇宏

研究分担者 新潟大学大学院医歯学総合研究科 腎泌尿器病態学分野 専任助教 鳥羽智貴

共同研究者 佐渡総合病院 泌尿器科 山口峻介

13. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

<お問い合わせ先>

新潟大学大学院医歯学総合研究科 腎泌尿器病態学分野 専任助教 鳥羽智貴

TEL: 025-227-2289